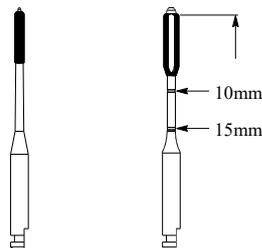


# ファイバーポスト腔形成用(i-TFCシステム)バー



品番	TFC-013CA	TFC-020CA
ダイヤ粒子	Medium	Medium
ISO	013	020
ダイヤ長(mm)	7.3	7.3
先端形状	セーフイント*	セーフイント
先端径(mm)	0.4	1.3
元径(mm)	1.3	2.0
全長(mm)	32.0	32.0
最高回転数 ( $\text{min}^{-1}$ )	2,000	2,000
医院価格 (円/本)	2,500	2,500

包装: 単品各3本入 ¥7,500

2本セット(TFC-013CA、TFC-020CA 各1本入り) ¥5,000

## i-TFCシステム・根築一回法の特徴

- ① 歯根破折を抑えるために築造材を象牙質の弾性係数に近似したグラスファイバーとコンポジットレジンの複合体とした。
- ② 良好な封鎖性と維持力を確保するため、流れが良く組織親和性の高い、そして、接着強度の高いスーパーボンドC&Bをシーラーとして使用した。
- ③ 治療時間の効率を上げるために根管充填がそのまま支台築造となるようにした。
- ④ 根管充填後の経過が悪かった場合には、ファイバーポスト中央のステンレスワイヤーを引き抜くことで、再根管治療時の根管形成を容易に行えるようにした。
- ⑤ 根管腔が広く根管壁が薄い歯根を良好に維持するために、チューブ形態のスリーブポストを考案し、これをポスト外側に設置することで補強効果を大きくしている。

このようにこれまでの支台築造法を大きく改善したi-TFCシステムであるが、このi-TFCシステム・根築一回法のポスト腔形成のために作製したのが、この外径1.3mmのポスト用バー(TFC-013CA)と2.0mmのスリーブ用バー(TFC-020CA)である。開発当初においては、このポスト形成にスチール製のピーソーリーマー#4( $\phi$ 1.3mm)と#6( $\phi$ 1.7mm)を使用していた。しかし、スチール製バーには $\phi$ 2mmの規格がないことと、直ぐに切れ味が悪くなる問題があった。このため、ダイヤモンドバーに変更したが、ダイヤモンドバーにしてからは切削効率が良くなっただけでなく、バーそのものの耐久性が良くなり長期間使用できるようになり大きく満足している。

眞坂歯科医院  
眞坂 信夫

製造販売元: 株式会社日向和田精密製作所  
東京都青梅市日向和田3-698  
TEL0428(24)3711 FAX0428(24)3733  
一般医療機器 歯科用ダイヤモンドバー  
製造販売届出番号 13B3X0025600001